

総務教育常任委員会資料

(令和5年8月21日)

【件名】

- ・令和4年度教育行政の点検及び評価について (教育総務課) … 2
- ・令和5年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について (小中学校課) … 6
- ・鳥取県立生涯学習センター、鳥取県立船上山少年自然の家及び鳥取県立大山青年の家に係る鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の審査結果について (社会教育課) …25
- ・モンゴル中央県設立100周年記念事業参加及び友好交流25周年記念事業の実施について (図書館) …39
- ・県立美術館の開館に向けた美術作品の購入候補等について (美術資料収集評価委員会の結果等) (美術館整備課) …41
- ・「鳥取県立美術館の来館利用についての公開対話会」について (美術館整備課) …51
- ・令和5年度第1回鳥取県立博物館協議会の開催結果について (博物館) …53

教 育 委 員 会

令和4年度教育行政の点検及び評価について

令和5年8月21日
教育総務課

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこととされており、この度、鳥取県教育振興基本計画に定める施策項目について、別冊のとおり点検及び評価を実施しましたので、その結果を報告します。

1 指標の進捗状況

評価については、146項目の指標のうちA評価（予定以上）が35項目（24%）、B評価（予定どおり）が76項目（52%）で合わせて111項目（76%）であり、教育行政に関する取組状況は概ね予定どおり進捗しています。一方、C評価（やや遅れ）は35項目（24%）であり、今後これらの項目について重点的に取り組んでいきます。

<評価内容一覧>

():R3評価

項目	評価内容			
	A	B	C	合計
1 社会全体で学び続ける環境づくり	(6) 4	(3) 4	(1) 2	(10) 10
2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進	(21) 16	(41) 53	(18) 17	(80) 86
3 学校を支える教育環境の充実	(4) 10	(10) 9	(14) 10	(28) 29
4 生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進	(6) 4	(8) 10	(2) 5	(16) 19
5 文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造	(1) 1	0 0	(1) 1	(2) 2
合計	(38) 35	(62) 76	(36) 35	(136) 146

※年度によって調査を実施しない項目があるため、総数は変動します

<評価区分の考え方>

評価区分	判断基準
A	目標を達成(目標値に対して100%以上)
B	目標を概ね達成(目標値に対して90%以上100%未満)
C	目標を下回る(目標値に対して90%未満)

- ・C評価のうち、目標値に対して80%以上90%未満の項目について、当該年度が前年度を上回っている場合はB評価とする
- ・評価時点（令和5年5月末）で令和4年度数値が判明していない項目については、令和3年度の数値で評価

<目標を達成した主な指標（A評価）>※（）内は実績／目標（ただし、ICTは国実績との比較）

- ・児童生徒に対して、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行っている」学校の割合（小学校6年生（93.4%/92%）、中学3年生（91.1%/90%））
- ・コミュニティ・スクールを導入している学校の割合（88.9%/70%）
- ・教員のICT活用指導力の状況（児童生徒のICT活用を指導する能力）の割合（県81.3%/国77.3%）

<目標を達成できなかった主な指標（C評価）>

- ・「地域の行事に参加している」児童・生徒の割合（小学校6年生（67.9%/85%）、中学校3年生（45.2%/59%））
- ・鳥取県体力・運動能力調査の総合判定（A～Eの5段階）が、A又はBの割合（小学5年生 男（32.4%/42%）、女（39.8%/48%））
- ・英検準1級以上等の英語力を有する担当教員の割合（中）（33.5%/65%）
→令和6年度教員採用試験（令和5年度実施）より、準1級以上の英語力を有する者は第一次選考試験のすべてを免除

2 主な点検の概要

2 - (7) - ② 基礎学力の確実な定着、質の高い理解と生きて働く知識・技能の習得	
計画 取組状況	学力の伸びを測る鳥取県版の学力・学習状況調査を県内14市町村を対象として実施するとともに、得られたデータから学力の伸びや非認知能力、学習方略の変化を可視化し、児童生徒一人ひとりの個別最適な指導に生かす「分析シート」を作成するシステムを構築した。
課題	「鳥取県学力向上推進プラン」に基づき、児童生徒の学習意欲の向上につながる取組の強化や授業の組立を工夫するなど、児童生徒が「わかった」「できた」を実感できる授業づくりを市町村教育委員会や学校と連携しながら進めていくとともに、授業改善の進捗状況と課題について把握し、課題解決に取り組む必要がある。
今後の取組	鳥取県版の学力・学習状況調査の対象地域・学年を拡大し、本県の児童生徒の学力の伸びや学習状況の把握により教育施策や指導の工夫改善を図り、子どもたちの学力を確実に伸ばす取組を推進する。また、全国学力・学習状況調査の問題から読み取れる「今、求められる学力」を明確に提示し、授業改善を推進するための研修会を開催するとともに、エキスパート教員によるモデル授業動画や各種研修動画等を常時閲覧できるサイトの充実等により教員の指導力向上及び授業改善を推進する。
2 - (9) - ① グローバル化に対応した人材の育成、英語教育の推進	
計画 取組状況	小学校英語専科教員(19名)及び小学校外国語活動支援員(45名)を配置し、連絡協議会・研修会の開催により、小学校英語専科等のネットワークの構築と教材等の共有や小学校外国語教育の充実が図られた。また、高校生対象の米国スタンフォード大学による遠隔講座(10講座)を実施し、英語による意見交換等により、多角的思考力や英語力の育成が図られた。
課題	小学校では、教員間で授業づくりの技量や経験の差があり、中学校では、授業での英語使用や言語活動の充実を図ることなど学校や教員ごとの差が大きく、十分に授業改善が図られていない。
今後の取組	令和5年度から全公立中学校の3年生に4技能型、1・2年生に2技能型の英検IBAを実施し、各校の実態に応じた英語による発信力を高める指導法の改善と授業力の向上を図る。鳥取県の目指す義務教育段階の英語教育を示した「小学校及び中学校7年間の英語教育プラン」の周知を図り、特に中学校において小学校の学びを踏まえた授業実践となるよう、授業改善に取り組む。また、質の高い英語教育を行うため、引き続き指導主事が新規小学校英語専科配置校、全中学・義務教育学校を訪問し、授業改善支援、指導を行うとともに、小学校英語専科等の実践事例を教育課程研究集会等で周知する。
2 - (9) - ② 技術革新・高度情報化に対応した人材の育成、ICT活用教育の推進	
計画 取組状況	「GIGAスクール構想」の実現に向け、ICT活用教育推進校による公開授業及び研修会の開催(計9回)や推進校の取組や実践例を全県に配信するGIGAスクール構想推進チャンネル(GIGAチェーン)を実施した(夏・冬の2回)。鳥取県ICT活用教育アドバイザーによるミニ講演会を実施した(計1回)。県の取組を周知するGIGAスクールフェアを開催した(夏・冬の2回)。ICT活用推進地域を中心とした様々な実践の事例と情報活用能力体系表を盛り込んだ「とっとりICT活用ハンドブック」増補版を発行し、授業実践、校内研修等に活用した。加えて、クラスルーム ^{*1} 「鳥取県情報担当者ネットワーク」を作成し、ICTに係る素早い情報発信を行い、ICT活用を推進した。また、学校ごとのICT活用課題に対応した研修を行う学校訪問型研修を約40校、約1,100人の教員に対して実施し、県内全域の教員の指導力向上を図った。 ^{*1} クラスルーム Googleが開発した無料の学校向けwebサービス。
課題	学校現場の教員の機器操作スキル、授業での効果的な活用スキルなど、市町村や学校間でICT活用の必要性に対する意識や活用状況に差が生じている。また、全日制県立高校においては、令和4年度から学年進行により一人一台端末導入を進めているが、教員のICT活用指導力の向上が急務となっている。
今後の取組	ICT活用教育推進校を指定し、児童生徒の情報活用能力や教員のICT活用指導力育成に取り組むとともに、指導主事及び教育DX推進員、ICT教育指導員等による推進校の取組支援等により、ICTを活用した新しい「ととりの学び」を実践し、その情報を随時公開して県内に普及拡大する。また、ICTを活用した先進的な教育に取り組む「学びの創造先進校」(1校)及び「学びの創造先進地域」(5校)を指定し、5年後、10年後を見据えたICTを活用した探究的な学びを実践することにより「とっとり学びの改革」を推進し、新たな価値を生み出す想像力を持った子どもたちを育成するとともに、鳥取県版PBL ^{*2} プログラムを構築する。県立高校においては、令和4年度から一人一台端末導入を学年進行で進めており、東中西各地区にICT支援員を継続配置し、教員のICT活用指導力向上を支援するとともにGIGAスクール運営支援センターを活用し、学校支援体制の充実を図る。県にICT教育指導員を配置し、市町村教育委員会及び公立小中学校の教員へ指導や助言を行うとともに、ICTを活用した効果的な授業の実施を支援する。教育の情報化を戦略的に推進していくために、新たな「鳥取県学校教育情報化推進計画」(仮称)(R6～)を策定する。 ^{*2} PBL(プロジェクト型学習) Project-based Learningの略。課題解決能力や創造力等を育成することを目的に、子どもたちが主体的に仲間と協力しながらプロジェクトや課題解決に取り組む学習の形態のこと。

3 - (10) - ① 県立高校の魅力化・特色化	
計画 取組状況	県外からの進学を検討する中学生、保護者向けのオンライン学校説明会に県立高校（青谷、倉農、日野）が参加し、生徒の募集活動を行うとともに、全国38局で放送されている人気ラジオ番組を活用し、全国にPRした結果、 <u>県外からの問合せや視察につながった</u> 。また、倉吉東高校への <u>国際バカロレア教育の導入</u> に向けた体制や施設整備等を行い、 <u>令和4年9月に国際バカロレア認定校</u> となった。
課題	<u>令和新時代の魅力ある新しい高等学校及び学科の在り方や高等学校の質を問うような抜本的な改革の道筋を明らかにしていく必要がある</u> 。また、県外生徒の下宿、学生寮などの受入体制の整備や、国際バカロレアについては、 <u>必要な学習環境の整備を行うとともに、引き続き指導する人材の育成及び国際バカロレア教育の認知度向上、機運の醸成に向けた広報活動等を随時行っていく必要がある</u> 。
今後の取組	<u>令和8年度以降の高等学校教育の在り方について、令和5年度中の基本方針作成に向けてパブリックコメントを実施</u> する。県外生徒の受入れについて、地域との連携を強化し、その地域に合った受入方法を検討するとともに、 <u>引き続き下宿の受入れ先の開拓や、学生寮の設置の可能性等について調査、研究を進める</u> 。また、 <u>ふるさとファミリー補助金の要件緩和や補助を増額し、受け入れ態勢の拡充を図る</u> 。国際バカロレアについては、ワークショップへの参加による <u>担当教員のスキルアップ等を行う</u> ほか、説明会の開催及びSNS等を活用した <u>広報等を行い、認知度向上を進める</u> 。
3 - (11) - ① 魅力ある教員の確保	
計画 取組状況	<u>オンデマンド説明会（動画配信）やオンラインによる教員採用説明会を実施</u> するとともに、 <u>県教育委員会公式Twitter及び公式YouTubeを活用した情報発信</u> を行った。関西会場での採用試験について、 <u>令和4年度から、小学校・特別支援学校教諭・養護教諭に加えて新たに中学校教諭についても実施し、中学校教諭で+36名の志願者を集めることができた</u> 。また、教職志向性の高い生徒の開拓から教員採用まで、一つのベクトル上に乗る取組として、 <u>「未来の教師」育成プロジェクト拠点校を対象とした鳥根大学教育学部体験入学プログラムを実施</u> した。（オンライン実施 県内8校・92人参加）
課題	今後の教員の大量退職、令和3年度以降の国による小学校の35人学級を一步進めた <u>鳥取県独自の小学校の30人学級の計画的な実施等を踏まえ、質の高い教員の確保が必要である</u> 。
今後の取組	<u>「とっとり教採アンバサダー」を活用したプロモーション動画の作成やGoogle検索エンジン・Yahoo!ディスプレイのインターネット広告等を活用するとともに、ICT活用に関する技能・実技試験の全試験区分実施、小学校教諭の専門試験（筆記試験）において、数学・理科に傾斜配点を行う数学・理科重視型の実施により、ICT活用スキルを有する教員や小学校における教科担任制の推進を見据えた採用を促進する</u> 。また、 <u>鳥根大学教育学部体験入学プログラムなど、「未来の教師」育成プロジェクトの取組を進めていく</u> 。
3 - (13) - ② 不登校対策の推進	
計画 取組状況	スクールカウンセラーを中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校に全校配置するとともに、 <u>高校生年代における不登校・引きこもり等の生徒を支援するハートフルスペースを運営し、学校復帰や社会的自立に向けた支援を行った</u> 。また、 <u>自宅学習支援員を配置し、eラーニング教材を活用した不登校児童生徒への自宅学習支援を行うとともに、通常の学級での学習や集団での生活等が困難となった不登校（傾向）生徒の支援を行うため、県内5中学校に「校内サポート教室」を設置した</u> 。さらに、 <u>県立夜間中学設置準備等に係る懇談会を開催し、出された意見を参考に、県立夜間中学の校名（鳥取県立まなびの森学園）及び入学者募集方針を決定した</u> 。
課題	<u>不登校の出現率が上昇しており、不登校の要因・背景の見立てや児童生徒への理解に基づいた適切な支援を早期に行うことの重要性について、教職員の意識を高めていく必要がある</u> 。また、 <u>県立夜間中学の令和6年4月開校に向けて具体的な準備を進めていく必要がある</u> 。
今後の取組	不登校児童生徒が抱える諸課題における支援の充実を図るため、 <u>市町村教育委員会との連携を強化し、協働して学校の支援を行う</u> 。学校訪問型研修等を実施し、 <u>「不登校の理解と児童生徒支援のためのガイドブック」の周知</u> や不登校の要因・背景の見立てや児童生徒理解に基づいた適切な早期支援や不登校の未然防止のための学級づくりなど、 <u>組織的な取組の推進を図る</u> 。不登校の要因の一つである不安への対処法について、 <u>スクールカウンセラーによる児童生徒への心理教育の推進</u> を図るとともに、不登校児童生徒の学習機会を確保するため、 <u>eラーニング教材を活用した自宅学習支援及び「校内サポート教室」の設置を令和5年度に10校に拡大するとともに、いじめ・不登校総合対策センター内に設置した保護者向けの「不登校相談電話」の更なる周知を図る</u> 。また、 <u>県立夜間中学開校に向けた準備を進めるとともに、様々な広報活動により県民への周知を図る</u> 。 不登校の未然防止につなげるため、GIGAスクール構想で整備された <u>児童生徒用端末から日々入力される各種教育データを効果的に活用し、児童生徒の日々の心と体の変化を把握</u> するとともに、 <u>早期に児童生徒理解に基づく適切な支援や、環境の構築と学校現場でのテスト運用による効果測定を行い、教育の質的向上に向けた今後の学校教育環境整備に資するモデルを構築する</u> 。

【新型コロナウイルス感染症に関する特設項目】

(特設項目) 子どもたちの学びの保障	
計画 取組状況	文部科学省の公立学校情報機器整備費補助金を活用し、 <u>県立学校の指導者用端末の整備を行うこと</u> でオンライン授業等を実施した。また、 <u>鳥取県ICT活用教育アドバイザーによる、一人一台端末の日常的な持ち帰りについてのミニ講演会を実施した。</u> 全日制県立高校においては、令和4年度入学生から一人一台端末を導入し教育活動での活用を推進した。
課題	各学校に整備されたICT機器を効果的に活用し、 <u>ICTを活用する教員の技能を高め、児童生徒のeラーニング教材の活用を推進する必要がある。</u> また、端末の持ち帰りを許可している市町村が少ないことから、 <u>家庭での端末の活用を推進</u> するためのサポート体制の整備や市町村教委へ持ち帰りの仕組みづくりについて情報提供を行っていく必要がある。
今後の取組	県内全小・中学校教員向けに、 <u>操作方法やICTの効果的な活用に関する研修の実施、ICT活用教育推進地域の実践事例など、オンライン会議システムを活用して年間を通して配信し、教員のICT活用指導力の向上</u> を図る。また、全日制県立高校においては、令和4年度から一人一台端末導入を学年進行で進めており、 <u>東中西各地区ごとのICT支援員の配置を拡充</u> し、教員のICT活用指導力の向上を支援する。

3 来年度に向けての取組

令和5年度のアクションプランには、ALT等のネイティブスピーカーと実際に英語を使ってコミュニケーションをとる場を創出し、児童生徒の英語学習への意欲付けを図るとともに、英語によるコミュニケーション能力及び発信力の向上を図る内容や、学習端末を活用した不登校未然防止対策について追加するとともに、教育DXの更なる充実等を明記し、今後取組を推進していきます。

令和5年4月18日（火）に実施した全国学力・学習状況調査について、本県の調査結果について以下のとおりご報告します。

- ・【教科調査】全国平均正答率と比較すると、小学校国語、中学校国語、中学校数学では差が見られないが、小学校算数は下回り、中学校英語は大きく下回った。授業改善のポイントとして取り組んできた「思考・判断・表現」を問う問題で小学校の正答率の改善が見られた。さらに小学校・中学校国語において、記述問題の正答率の改善が見られた。
- ・【質問紙調査】自己肯定感や地域への参画意識は高まってきているが、自分の考えを工夫して発表する力に課題がある。

<各教科>

教科調査平均正答率（％）

	国語		算数・数学		英語	
	本県（公立）	全国（公立）	本県（公立）	全国（公立）	本県（公立）	全国（公立）
小学校6年	67 →	67.2	61 ↓	62.5		
中学校3年	69 →	69.8	50 →	51.0	42 ↓	45.6

※文部科学省は、細かい桁における微小な差異は実質的な違いを示すものではないため、平成29年度より小数点以下は四捨五入し整数値で公表している。よって、本県としては±1%以内は「全国平均と差はみられない」として取り扱っている。

※中学校英語調査は、平成31年度実施から4年ぶりに実施。

「思考・判断・表現」を問う問題の全国平均との差

学校・教科	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校国語	-4.2	-2.0	+0.1
小学校算数	-2.1	-1.6	-1.4

記述問題の全国平均との差

学校・教科	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校国語	-2.0	-0.5	+1.7
中学校国語	-2.4	-1.6	-1.0

<質問紙> ※（ ）内は本県の令和4年度との比較[%]

○「自分には、よいところがあると思いますか」、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」などの質問に対し、肯定的な回答をした児童生徒が全国平均を上回り、昨年度より増加した。

よいところがある : 小学校6年 84.3 (+5.3) ※全国比+0.8 中学校3年 80.5 (+2.4) ※全国比+0.5
地域の行事に参加 : 小学校6年 73.3 (+5.4) ※全国比+15.5 中学校3年 46.6 (+1.4) ※全国比+8.6

○「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対し、小学校では肯定的な回答をした児童が昨年度より増加した。

将来の夢や目標 : 小学校6年 81.2 (+1.6) ※全国比-0.3 中学校3年 66.3 (-0.6) ※全国比±0.0

▲「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の肯定的な回答は児童生徒ともに課題がある。

工夫して発表 : 小学校6年 57.8 (-1.6) ※全国比-5.9
中学校3年 58.1 (+0.2) ※全国比-4.0

【成果と課題】

○近年、全国学力・学習状況調査で鳥取県の課題として明らかになった「思考力・判断力・表現力等」について、それらの力を予測困難な時代を生きる子どもたちに、「今、求められる資質・能力」と位置付け、その課題解決のため、授業改善に向けた取組をはじめ、様々な事業を行ってきたことで、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率に成果が表れてきている。

▲中学校英語については、全国平均正答率と大きく開きがある。学校訪問による授業改善等の指導は行ってきたが、それだけでは十分ではなく、生徒の学力向上には至っていない。

【今後の取組】

英語教育の課題を把握し、英検I B A調査結果をもとに学校訪問を行い、学校への指導を徹底するとともに、ALT等の有効な活用法についても指導するなどして英語教育を推進する。また、近年増加する若手教員等の指導力向上、さらに学級経営の難しい学校への支援など重点化を図る。

<英語に関する重点的な施策>

主な取組	内容
(新) 全中学校訪問による英語の授業改善に係る支援	・全国学調や英検I B Aの結果を踏まえ、言語活動を通して、4技能をバランスよく育成する授業づくりを推進するため指導主事による全中学校英語訪問を実施
(新) 英検I B A等の客観的指標を基にした授業改善及び評価の支援	・英検I B Aを活用し、教師が生徒の英語力を適切に見取り、指導に反映。生徒自身が自分の英語力を客観的に認識し、主体的に取り組む態度の育成 ・英検I B A等の結果を分析・活用する研修会等を実施し、授業改善の推進を支援
(新) ネイティブスピーカーとのオンライン英会話レッスン実施への補助	・中学生の「話すこと」の力を伸ばす取組を推進する事業を実施する市町への支援 ・一人一台端末を活用し、ネイティブスピーカーとのオンライン英会話レッスンを導入する市町への補助
(新) ALT等を効果的に活用した授業づくりの支援	・ALT等を活用し、日常から英語に触れる機会を創出している事例（パフォーマンステストや異文化理解等）の教材を作成し周知・展開

<継続して取り組む施策>

主な取組	内容
とっとり学力・学習状況調査	・児童生徒の非認知能力や学習方略、昨年度からの児童生徒の学力の伸びを把握し、授業や学級経営に生かせるよう、その活用方法を情報提供し、支援
教職員の指導力向上に対する意識改革	・全国学調の問題を活用した授業づくりを小中学校に展開 →研修パッケージの活用 →活用問題集（B-PLAN）を活用した授業づくり ・全国学調に深く関わっている教科調査官等を招聘し、授業研究会を伴う研修会を開催 ・中学校定期考査研修会の開催及び中学校教育研究団体等と連携した研修会の実施
外部専門家等による分析・取組の推進	・学力向上推進PT会議及び英語教育推進PT会議の開催（文科省専門官、大学教授、市町村首長等）

1 全国学力・学習状況調査のねらい（鳥取県）

全国学力・学習状況調査を通して、児童生徒に、学習指導要領で求めている「教科の見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けて深く理解したり情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすること」が実現されているかを測るとともに、課題を明確にし、授業改善の方向性を示す。

2 各教科・質問紙の状況分析

(1) 各教科

(改善がみられる点)

小学校国語・算数	効果のあった取組
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「思考・判断・表現」を問う問題や、記述式で解答する問題の正答率が高かった。 算数においては、「C変化と関係」領域の問題で、正答率が向上した。 国語・算数ともに、無解答率が全国より低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程研究集会で学習指導要領の趣旨を踏まえた指導や評価の実現について周知を図った。 「今、求められる資質・能力」の育成に向けて、研修動画を作成し、授業改善を図った。 校内研修等で活用できる動画とワークシートを組み合わせ「研修パッケージ」を作成し、授業展開例等を具体的に示した。 国語においては、条件に即して記述する等の資質・能力を育成するための授業づくりについて周知を図った。 小学校国語においては、指導事項を明確にした授業づくりの在り方について授業づくり研修会で周知を図った。 英語においては、言語活動を通じた資質・能力の育成について、学校訪問等で示したり、教育研究団体支援を実施したりした。
中学校国語・数学・英語	
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「知識・技能」を問う問題や記述式で解答する問題の正答率が向上した。 数学においては、「Dデータの活用」領域の問題で、正答率が全国を上回った。 英語においては、授業改善に関する質問紙の全ての項目で、肯定的に回答した生徒の割合が全国を上回った。 	

(課題のある点)

小学校国語・算数	今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「読むこと」、「書くこと」を問う問題の正答率が低い。 算数においては、「A数と計算」領域の問題で、正答率が下回った。また、割合に関する問題の正答率が大きく下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省教科調査官等を講師として招聘した授業づくり研修会、中学校定期考査研修会の開催や、中学校教育研究団体の支援を行うことにより、今求められる資質・能力を育成するための授業改善を推進する。 「単元到達度評価問題」「B-PLAN」等の活用を推進し、ねらいを明確にした授業づくりを推進する。 国語において、県指導主事による模擬授業を通じた授業づくり研修会を開催し、児童、生徒が指導事項を確実に身に付けられるよう授業改善を推進する。 算数、数学において、個人で適用問題を確実に解答することができる授業づくりを推進する。 英語において、全中学校を学校訪問し、具体的な場面を示しながら、知識・技能の定着や表現内容の充実について指導・助言を行い、言語活動を通じた資質・能力の育成のより一層の充実を図る。
中学校国語・数学・英語	
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「思考・判断・表現」を問う問題が全国を下回った。 数学においては、「B図形」の領域で正答率が全国を3ポイント下回った。また、記述式の問題の正答率が全国を下回った。 英語においては、全ての問題で正答率が全国を下回った。 	

(2) 児童生徒質問紙調査

- ICTを活用した授業改善が進んでいる。特に中学校においては進んでいる。
- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館に行くと回答した割合が全国を上回った。
- 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を取り入れた授業改善が進んでいるが、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することに課題がある。

項目	全国と比較して、よくできている点 (◎) 比較的好い点 (○) 課題のある点 (▲)
主体的・対話的で深い学びについて	○ (中学校) 前学年までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたが
	▲ (小中学校共通) 前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたが
ICT活用について	○ (小中学校共通) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
	○ (小中学校共通) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
	▲ (小中学校共通) 家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり、英語を話す練習をしたりしていますか
英語について	▲ (小学校) 英語の勉強は好きですか
	○ (中学校) 英語の勉強は好きですか
	◎ (中学校) 自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動が行われていましたか
	▲ (小中学校共通) 英語の勉強は大切だと思いますか
ふるさとキャリア教育について	◎ (小中学校共通) 今住んでいる地域の行事に参加していますか
	◎ (小中学校共通) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要

令和5年8月21日
小中学校課

1 実施状況

(1) 小学校6年

実施校119校（小学校113、義務教育学校6）

教科等	国語	算数	質問紙
人数	4,543	4,544	4,624

(2) 中学校3年

実施校59校（中学校50、分校2、義務教育学校6、特別支援学校1）

教科等	国語	数学	英語	質問紙
人数	4,077	4,087	4,082	4,083

2 教科調査の概要

(1) 小学校6年

【平均正答率】

[単位：%]

	国語				算数			
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
R5	67	67.2			61	62.5		
R4	64	65.6			62	63.2		
R3	64	64.7			69	70.2		
H31	63	63.8			66	66.6		
	国語A		国語B		算数A		算数B	
H30	71	70.7	55	54.7	62	63.5	50	51.5
H29	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9

国語 14問 ◆平均正答率・・・67%(67.2%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて比較的できている点>

- ・「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」問題 63.9%(57.6%)
- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題 74.3%(70.2%)

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる(いがい)」問題 50.7%(52.8%)
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」問題 65.6%(67.4%)

算数 16問 ◆平均正答率・・・61%(62.5%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて比較的できている点>

- ・「表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める」問題 93.9%(93.5%)
- ・「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する」問題 56.6%(56.2%)

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「わり算の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える」問題 42.4%(47.6%)
- ・「百分率で表された割合について、正しいものを選ぶ」問題 40.2%(46.0%)

(2) 中学校3年

【平均正答率】

[単位：％]

	国語				数学				英語	
	本県(公立)	全国(公立)								
R5	69	69.8			50	51.0			42	45.6
R4	68	69.0			51	51.4				
R3	63	64.6			56	57.2				
H31	73	72.8			60	59.8			54	56.0
	国語A		国語B		数学A		数学B		英語	
H30	76	76.1	60	61.2	66	66.1	45	46.9		
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1		

国語 15問 ◆平均正答率・・・69%(69.8%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて比較的できている点>

- ・「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる」問題 86.7%(82.5%)
- ・「古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる」問題 74.5%(74.1%)

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる」問題 51.3%(54.3%)
- ・「文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる」問題 71.3%(74.2%)

数学 15問 ◆平均正答率・・・50%(51.0%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて比較的できている点>

- ・「指定された階級までの累積度数を求める」問題 50.0%(46.1%)
- ・「四分位範囲を求める」問題 69.1%(65.7%)

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「分配法則を利用して分数を含む式の計算をする」問題 75.1%(80.5%)
- ・「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明する」問題 54.8%(58.8%)
- ・「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明する」問題 37.4%(40.9%)

英語 17問 ◆平均正答率・・・42%(45.6%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる」問題 51.4%(59.8%)
- ・「日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」問題 55.3%(61.1%)
- ・「未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる」問題 35.0%(40.4%)
- ・「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる」問題 14.7%(19.5%)

3 質問紙調査の概要 [下線…肯定的な回答について、全国平均を上回っている数値]

(1) 教科に関するもの ※結果に特徴の見られるもの

【小学校6年 国語】

- ・「国語の勉強は好きですか」 61.3% (61.5%)
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 93.7% (92.8%)
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」 94.7% (94.2%)
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」 83.9% (85.7%)

【小学校6年 算数】

- ・「算数の勉強は好きですか」 59.8% (61.4%)
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」 94.2% (94.2%)
- ・「算数の授業の内容はよく分かりますか」 77.1% (81.2%)
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 93.8% (93.3%)

【小学校6年 英語】

- ・「英語の勉強は好きですか」 67.0% (69.3%)
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」 90.8% (91.3%)
- ・「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」 46.8% (52.5%)

【中学校3年 国語】

- ・「国語の勉強は好きですか」 65.0% (61.4%)
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 90.4% (88.7%)
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」 93.5% (92.4%)
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」 79.9% (80.0%)

【中学校3年 数学】

- ・「数学の勉強は好きですか」 56.6% (56.7%)
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」 86.5% (85.0%)
- ・「数学の授業の内容はよく分かりますか」 71.5% (73.3%)
- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 79.2% (75.8%)

【中学校3年 英語】

- ・「英語の勉強は好きですか」 53.2% (51.9%)
- ・「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 86.2% (87.5%)
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」 87.1% (88.0%)
- ・「英語の授業の内容はよくわかりますか」 62.4% (63.9%)

(2) 「教育に関する大綱」に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
自分には、よいところがあると思いますか	84.3% (83.5%)	80.5% (80.0%)
将来の夢や目標を持っていますか	81.2% (81.5%)	66.3% (66.3%)
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	70.5% (70.7%)	56.1% (55.0%)
今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.3% (57.8%)	46.6% (38.0%)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.9% (76.8%)	68.1% (63.9%)

(3) 「主体的・対話的で深い学び」に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	81.4% (81.8%)	82.6% (79.7%)
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.4% (78.8%)	81.0% (79.2%)

(4) 「基本的生活習慣」に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか	94.6% (93.9%)	92.8% (91.2%)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.5% (81.0%)	83.0% (78.0%)
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2% (90.5%)	92.8% (91.3%)

令和5年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国平均より3ポイント以上上回っている項目

下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	全国との比較		差(%)
		県 肯定的回答	全国	
1	朝食を毎日食べていますか	94.6	93.9	0.7
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.5	81.0	0.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	90.5	0.7
4	自分には、よいところがあると思いますか	84.3	83.5	0.8
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.1	89.8	3.3
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	94.3	93.0	1.3
7	将来の夢や目標を持っていますか	81.2	81.5	-0.3
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.0	91.6	0.4
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.7	96.9	0.8
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	70.1	68.5	1.6
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7	95.9	0.8
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.0	85.3	-1.3
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	73.6	76.5	-2.9
14	友達と協力するのは楽しいと思いますか	91.0	90.3	0.7
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.9	91.0	-0.1
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	70.5	70.7	-0.2
17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	20.7	25.6	-4.9
18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	9.5	13.3	-3.8
19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	28.0	38.2	-10.2
20	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	60.3	60.0	0.3
21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	61.6	58.8	2.8
22	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(26冊以上)	65.2	66.5	-1.3
23	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	14.9	12.6	2.3
24	読書は好きですか	70.8	71.8	-1.0
25	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.3	57.8	15.5

【小学校】児童質問紙調査結果から

下線	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
26	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.9	76.8	3.1
27	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	71.8	72.5	-0.7
28	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知りたいと思っていますか	78.8	78.1	0.7
29	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(週1回以上)	86.2	86.3	-0.1
30	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.2	95.1	1.1
31	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(使っている)	70.9	73.5	-2.6
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	57.8	63.7	-5.9
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.4	78.8	-2.4
34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	72.3	74.4	-2.1
35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	82.8	82.9	-0.1
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	81.4	81.8	-0.4
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.7	77.4	-0.7
38	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	80.6	81.9	-1.3
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	74.2	74.8	-0.6
40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	81.6	77.2	4.4
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.1	75.7	2.4
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	83.5	83.6	-0.1
43	国語の勉強は好きですか	61.3	61.5	-0.2
44	国語の勉強は大切だと思いますか	94.7	94.2	0.5
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.9	85.7	-1.8
46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.7	92.8	0.9
47	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	83.3	83.9	-0.6
48	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	75.5	76.8	-1.3

【小学校】児童質問紙調査結果から

上線	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
49	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか	69.3	71.1	-1.8
50	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	80.0	82.3	-2.3
51	算数の勉強は好きですか	59.8	61.4	-1.6
52	算数の勉強は大切だと思いますか	94.2	94.2	0.0
53	算数の授業の内容はよく分かりますか	77.1	81.2	<u>-4.1</u>
54	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.8	93.3	0.5
55	英語の勉強は好きですか	67.0	69.3	-2.3
56	英語の勉強は大切だと思いますか	90.8	91.3	-0.5
57	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思えますか	46.8	52.5	<u>-5.7</u>
58	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	39.1	46.5	<u>-7.4</u>
59	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	41.8	50.3	<u>-8.5</u>
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	85.0	80.7	4.3
国2	解答時間は十分でしたか(45分)	72.5	64.1	8.4
算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	81.3	80.3	1.0
算2	解答時間は十分でしたか(45分)	83.8	84.5	-0.7

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

令和5年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

下線

全国平均より3ポイント以上上回っている項目

全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	全国との比較		
		県	全国	差(%)
1	朝食を毎日食べていますか	92.8	91.2	1.6
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.0	78.0	5.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.8	91.3	1.5
4	自分には、よいところがあると思いますか	80.5	80.0	0.5
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.0	87.3	2.7
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	90.5	88.9	1.6
7	将来の夢や目標を持っていますか	66.3	66.3	0.0
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.9	88.1	-0.2
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.2	95.5	-0.3
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	69.6	66.4	3.2
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3	94.6	0.7
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.4	81.8	0.6
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.2	77.6	0.6
14	友達関係に満足していますか	89.9	88.7	1.2
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	87.1	86.8	0.3
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	56.1	55.0	1.1
17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	27.1	33.7	-6.6
18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	16.6	18.3	-1.7
19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	45.9	55.5	-9.6
20	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	53.8	49.4	4.4
21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか ※「全くない」を除く	48.5	39.5	9.0
22	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く。)(26冊以上)	65.5	63.9	1.6
23	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	11.6	8.1	3.5
24	読書は好きですか	67.9	66.0	1.9
25	学校の部活動に参加していますか	93.3	82.6	10.7

【中学校】生徒質問紙調査結果から

下線	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
26	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか	91.2	81.1	10.1
27	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	92.7	82.1	10.6
28	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	79.5	70.9	8.6
29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.6	38.0	8.6
30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	68.1	63.9	4.2
31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	66.6	66.8	-0.2
32	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	66.7	63.2	3.5
33	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	93.3	87.5	5.8
34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	94.7	93.3	1.4
35	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(使っている)	63.3	65.3	-2.0
36	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	58.1	62.1	-4.0
37	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.0	79.2	1.8
38	1, 2年生のとき受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	73.6	69.1	4.5
39	1, 2年生のとき受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	78.1	74.9	3.2
40	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	82.6	79.7	2.9
41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	70.7	69.2	1.5
42	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	72.5	69.9	2.6
43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	77.3	72.6	4.7
44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	83.1	77.9	5.2
45	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.9	71.6	7.3
46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	88.8	86.3	2.5
47	国語の勉強は好きですか	65.0	61.4	3.6
48	国語の勉強は大切だと思いますか	93.5	92.4	1.1

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線
全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
49	国語の授業の内容はよく分かりますか	79.9	80.0	-0.1
50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	88.7	1.7
51	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか	69.9	67.2	2.7
52	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	69.0	65.9	3.1
53	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	66.7	63.9	2.8
54	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	77.0	77.2	-0.2
55	数学の勉強は好きですか	56.6	56.7	-0.1
56	数学の勉強は大切だと思いますか	86.5	85.0	1.5
57	数学の授業の内容はよく分かりますか	71.5	73.3	-1.8
58	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.2	75.8	3.4
59	英語の勉強は好きですか	53.2	51.9	1.3
60	英語の勉強は大切だと思いますか	87.1	88.0	-0.9
61	英語の授業の内容はよく分かりますか	62.4	63.9	-1.5
62	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.2	87.5	-1.3
63	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	32.4	36.7	-4.3
64	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	27.3	30.0	-2.7
65	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	40.7	46.2	-5.5
66	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	80.6	78.2	2.4
67	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	82.9	80.3	2.6
68	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	67.6	63.8	3.8
69	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	79.8	78.7	1.1
70	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	84.6	82.8	1.8
71	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	82.9	80.7	2.2
72	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	82.8	79.3	3.5

【中学校】生徒質問紙調査結果から

	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	93.1	92.7	0.4
国2	解答時間は十分でしたか(50分)	78.7	75.3	3.4
数1	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	93.6	93.2	0.4
数2	解答時間は十分でしたか(50分)	73.6	75.0	-1.4
英1	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	80.5	83.7	-3.2
英2	解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)	66.5	68.6	-2.1
話1	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	42.7	45.2	-2.5
話2	解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)	46.1	45.5	0.6

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

令和5年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問紙調査結果から		6年間の比較					
		※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
1	朝食を毎日食べていますか	94.6	95.3	95.9	96.1	95.3	96.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.5	82.7	84.9	82.3	78.6	80.3
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	91.5	92.0	91.8	89.6	92.1
4	自分には、よいところがあると思いますか	84.3	79.0	78.8	81.7	83.6	78.2
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.1	90.6	/	89.1	88.1	88.5
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	94.3	/	/	/	/	/
7	将来の夢や目標を持っていますか	81.2	79.6	78.6	82.2	81.5	83.4
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.0	87.5	88.8	88.2	/	86.3
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.7	97.3	97.0	97.3	97.4	96.2
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	70.1	68.9	/	/	/	/
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7	95.1	95.3	96.1	95.9	92.8
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.0	83.7	80.6	84.6	/	86.1
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	73.6	69.2	65.9	/	/	/
14	友達関係に満足していますか	91	/	/	/	/	/
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.9	/	/	/	/	/
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	70.5	71.3	73.5	69.1	68.9	65.0
17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	20.7	20.0	22.4	23.5	22.4	20.9
18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	9.5	9.1	10.4	/	/	7.8
19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	28.0	/	/	/	/	/
20	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	60.3	60.5	65.2	66.3	66.5	64.3
21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	61.6	/	/	/	/	/
22	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(26冊以上)	65.2	69.4	69.2	/	/	/
23	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	14.9	17.3	18.9	23.1	24.2	25.8
24	読書は好きですか	70.8	73.2	/	75.3	/	75.7
25	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.3	67.9	74.7	81.3	78.2	78.7
26	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.9	/	/	/	/	/
27	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	71.8	/	/	/	/	/

令和5年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問紙調査結果から		6年間の比較					
		※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
28	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	78.8	/	/	/	/	/
29	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(週1回以上)	86.2	83.5	27.8	27.5	/	/
30	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.2	94.9	95.8	/	/	/
31	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(使っている)	70.9	70.2	65.6	/	/	/
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	57.8	59.4	60.7	59.2	60.0	63.5
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.4	75.6	77.4	77.5	76.4	/
34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	72.3	68.9	68.7	/	/	/
35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	82.8	79.2	82.2	/	/	/
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	81.4	79.1	80.7	74.0	78.2	69.3
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.7	77.5	80.8	/	/	/
38	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	80.6	/	/	/	/	/
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	74.2	70.4	75.4	64.8	/	72.3
40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	81.6	77.7	79.1	78.5	/	/
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.1	76.0	77.7	77.0	/	/
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	83.5	78.4	82.2	78.7	/	79.7
43	国語の勉強は好きですか	61.3	60.8	60.7	65.6	/	63.5
44	国語の勉強は大切だと思いますか	94.7	93.3	92.9	93.2	/	91.7
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.9	82.8	84.0	85.1	/	83.2
46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.7	92.3	91.6	92.4	/	89.2
47	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	83.3	/	/	/	/	/
48	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	75.5	/	/	/	/	/
49	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか	69.3	/	/	/	/	/
50	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	80.0	/	/	/	/	/
51	算数の勉強は好きですか	59.8	62.3	67.4	63.1	58.5	61.3
52	算数の勉強は大切だと思いますか	94.2	94.2	93.9	93.3	91.7	91.2
53	算数の授業の内容はよく分かりますか	77.1	79.9	84.2	79.2	80.8	77.5
54	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.8	93.5	93.0	93.0	91.0	88.8
55	英語の勉強は好きですか	67.0	/	/	/	/	/

令和5年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問紙調査結果から		6年間の比較					
		※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
56	英語の勉強は大切だと思いますか	90.8					
57	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	46.8					
58	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	39.1					
59	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	41.8					
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	85.0	81.6	81.7	81.6		78.9
国2	解答時間は十分でしたか(45分)	72.5	71.6	79.5	69.5		
算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	81.3	85.4	80.6	81.8	72.7	71.7
算2	解答時間は十分でしたか(45分)	83.8	84.9	82.5	81.6		

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

令和5年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問紙調査結果から		6年間の比較 ※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
1	朝食を毎日食べていますか	92.8	94.5	95.2	94.8	94.4	94.6
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.0	83.0	82.4	80.5	78.5	78.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.8	94.3	94.5	93.9	91.4	92.6
4	自分には、よいところがあると思いますか	80.5	78.1	78.5	74.7	79.9	73.2
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.0	88.2	/	84.3	85.3	82.2
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	90.5	/	/	/	/	/
7	将来の夢や目標を持っていますか	66.3	66.9	66.7	70.0	71.3	69.9
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.9	88.0	88.7	86.1	/	85.5
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.2	96.6	96.3	95.6	95.7	93.2
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	69.6	69.8	/	/	/	/
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3	95.8	96.2	95.3	95.9	92.9
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.4	83.3	81.0	81.6	/	82.6
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.2	77.5	74.7	/	/	/
14	友達関係に満足していますか	89.9	/	/	/	/	/
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	87.1	/	/	/	/	/
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	56.1	58.3	64.1	51.2	54.5	54.3
17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	27.1	29.2	34.2	29.8	31.0	30.1
18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	16.6	18.3	24.0	/	/	18.2
19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	45.9	/	/	/	/	/
20	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	53.8	53.1	56.0	55.4	57.2	56.1
21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	48.5	/	/	/	/	/
22	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く。)(26冊以上)	65.5	65.4	65.2	/	/	/
23	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	11.6	14.3	14.3	17.0	20.2	22.1
24	読書は好きですか	67.9	70.8	/	71.2	/	74.9
25	学校の部活動に参加していますか	93.3	/	/	/	/	/
26	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか	91.2	/	/	/	/	/
27	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	92.7	/	/	/	/	/
28	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	79.5	/	/	/	/	/

令和5年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問紙調査結果から		6年間の比較 ※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.6	45.2	53.4	58.6	53.6	50.6
30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	68.1	/	/	/	/	/
31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか	66.6	/	/	/	/	/
32	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知りたいと思いますか	66.7	/	/	/	/	/
33	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	93.3	87.5	27.9	28.4	/	/
34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つかと思いますか	94.7	94.5	93.4	/	/	/
35	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(使っている)	63.3	74.2	70.3	/	/	/
36	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	58.1	57.9	59.8	57.5	54.9	61.8
37	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.0	81.5	83.6	78.9	76.8	/
38	1, 2年生のとき受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	73.6	71.4	63.7	/	/	/
39	1, 2年生のとき受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	78.1	78.4	75.9	/	/	/
40	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	82.6	80.8	80.8	78.0	77.7	68.7
41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	70.7	75.8	74.8	/	/	/
42	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	72.5	/	/	/	/	/
43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	77.3	75.9	72.5	65.6	/	70.2
44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	83.1	80.7	79.9	76.6	/	/
45	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.9	77.8	76.8	72.7	/	/
46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	88.8	88.7	90.2	80.2	/	82.9
47	国語の勉強は好きですか	65.0	62.7	57.9	63.3	/	61.8
48	国語の勉強は大切だと思いますか	93.5	93.7	89.9	91.7	/	89.7
49	国語の授業の内容はよく分かりますか	79.9	80.2	77.4	78.4	/	74.2
50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	90.3	87.8	89.7	/	85.3
51	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか	69.9	/	/	/	/	/
52	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	69.0	/	/	/	/	/
53	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	66.7	/	/	/	/	/
54	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	77.0	/	/	/	/	/
55	数学の勉強は好きですか	56.6	57.6	56.9	56.0	52.3	54.8
56	数学の勉強は大切だと思いますか	86.5	87.7	83.9	85.8	85.1	82.2
57	数学の授業の内容はよく分かりますか	71.5	74.5	73.9	71.2	68.6	67.3
58	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.2	79.4	76.2	79.3	75.4	74.6

令和5年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問紙調査結果から		6年間の比較 ※斜線は質問項目がなかったもの及び複数回答によるもの					
質問 番号	質問事項	R5	R4	R3	R1	H30	H29
		肯定的な回答(%)					
59	英語の勉強は好きですか	53.2					
60	英語の勉強は大切だと思いますか	87.1					
61	英語の授業の内容はよく分かりますか	62.4					
62	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.2					
63	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	32.4					
64	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	27.3					
65	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	40.7					
66	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	80.6					
67	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	82.9					
68	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	67.6					
69	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	79.8					
70	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	84.6					
71	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	82.9					
72	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	82.8					
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	93.1	75.1	71.4	80.1		72.0
国2	解答時間は十分でしたか(50分)	78.7	84.2	77.9	90.4		
数1	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	93.6	54.0	54.8	60.5	53.5	55.6
数2	解答時間は十分でしたか(50分)	73.6	68.6	81.1	83.6		
英1	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	80.5					
英2	解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)	66.5					
話1	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	42.7					
話2	解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)	46.1					

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

鳥取県立生涯学習センター、鳥取県立船上山少年自然の家及び鳥取県立大山青年の家に係る
鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の審査結果について

令和5年8月21日
社会教育課

令和5年8月8日に開催した鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会において鳥取県立生涯学習センター、鳥取県立船上山少年自然の家及び鳥取県立大山青年の家の次期指定管理候補者として応募のあった法人等の審査を行いました。

記

1 応募者等

施設名	区分	応募 団体数	応募者
鳥取県立生涯学習センター (鳥取市扇町21)	公募	1	公益財団法人鳥取県教育文化財団 理事長 福本 慎一
鳥取県立船上山少年自然の家 (東伯郡琴浦町山川807-2)	公募	1	TKSS・富士総合警備保障共同企業体 代表者 株式会社TKSS 代表取締役 田中 富士夫 富士総合警備保障株式会社 代表取締役 谷口 道明
鳥取県立大山青年の家 (西伯郡大山町赤松明間原312-1)	公募	1	公益財団法人鳥取県教育文化財団 理事長 福本 慎一

※いずれも令和元年度から令和5年度までの指定管理者。

2 審査結果等の概要

- ・3施設の応募者は、全て指定管理候補者として適切とされた。
- ・審査結果の詳細は、別紙1から別紙3のとおり。

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会報告書
(鳥取県立生涯学習センター)

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会(以下「審査委員会」という。)において、次のとおり鳥取県立生涯学習センターの指定管理候補者を鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(以下「指定手続条例」という。)第5条及び鳥取県立生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(以下「生涯学習センター条例」という。)第5条の規定に基づいて審査した。

1 指定管理候補者

公益財団法人鳥取県教育文化財団 理事長 福本 慎一(鳥取市扇町21番地)

2 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

3 指定管理料の額

438,365,000円・・・(1)(債務負担行為額438,365,000円)

[参考]単年度委託料の額((1)÷5年) 87,673,000円

4 選定理由

鳥取県立生涯学習センターの指定管理者の指定に当たって応募があったのは上記1の1団体であった。審査委員会において指定手続条例第5条及び生涯学習センター条例第5条の基準に基づき総合的に審査した結果、上記1の候補者が指定管理候補者として適当であると認める。

[選定理由]

財政基盤も安定しており、これまでの指定管理施設の管理運営の経験から施設設備の維持管理や危機対応など各種業務に関するノウハウも有している。また、当該施設の設置目的を理解した上で、高等教育機関や市町村等とも連携しながら、生涯学習に係る企画立案を行っている。

さらに、フィールドワーク等の学習手法も取り入れながら、参加者による主体的な学びの成果が地域づくり等に活かせるような企画の提案を行っている。

5 公募の経緯

(1) 募集期間(募集要項配布から募集締め切りの日まで)

令和5年6月19日(月)から同年8月3日(木)まで(現地説明会7月10日(月))

(2) 応募者

応募者	所在地	代表者名
(公財)鳥取県教育文化財団	鳥取市扇町21番地	理事長 福本 慎一

6 審査の経緯

(1) 審査委員

氏名	所属等
岩田 直樹(委員長)	公立大学法人公立鳥取環境大学 特任教授
高田 充征(副委員長)	高田税理士事務所 税理士
太田垣 尚子	鳥取県高等学校PTA連合会 事務局長
佐々木 貴子	ガールスカウト鳥取県連盟
林 憲彰	鳥取県教育委員会事務局 次長

(2) 開催経緯

ア 第1回審査委員会 令和5年6月6日(火)

- ・ 県立生涯学習センターの概要説明、募集要項等の審議

イ 第2回審査委員会 令和5年8月8日(火)

- ・ 指定管理候補者の面接審査の実施、採点及び採点結果の審議、指定管理候補者の審査

(3) 選定基準

	選定基準	審査項目	配点
1	施設の平等な利用を確保するのに十分なものであること。 (指定手続条例第5条第1号)	・ 管理の基本的な考え方の適合性 (施設設置目的の理解 指定管理者を希望する理由 管理運営の方針)	必須 ※平等な利用が確保できないと判断される場合 減格
2	施設の効用を最大限に発揮させるものであること。 (指定手続条例第5条第2号)	・ 施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容 (サービス向上策、利用促進策等) ・ 施設設備の維持及び衛生管理の水準 ・ 管理の基準 (開館時間、休館日、利用料金等の設定 個人情報保護、情報の公開) ・ 利用者等の要望の把握・対応方針 ・ 事故・事件の防止措置	30
3	管理に係る経費の効率化が図られるものであること。 (指定手続条例第5条第2号)	・ 収支計画及び見積内容 ・ 支出計画の見通し ・ 県の指定管理料額の多寡	25
4	管理業務を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること。 (指定手続条例第5条第3号)	・ 法人の財政基盤、経営基盤 ・ 組織及び職員の配置等 ・ 現在の施設職員の継続雇用に関する方針 ・ 関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況 ・ 法人等の社会的責任の遂行状況 (障がい者雇用 男女共同参画推進企業等の認定等 ISO14001・TEAS I種規格等の認証等 あいサポート企業等の認定等 家庭教育推進協力企業としての協定締結) ・ 当該施設の管理運営状況の実績評価	20

5	教育委員会が行う事業における生涯学習センターの優先的な利用、教育委員会との連携及び調整が確保されるものであること。 (生涯学習センター条例第5条第1号)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会行う事業における生涯学習センターの優先的な利用の確保策 ・教育委員会との連携及び調整方針 	<p>必須</p> <p>※優先的な利用が確保できないと認められる場合は失格</p>
6	生涯学習センターの利用を通じた生涯学習の普及振興を行うこと。 (生涯学習センター条例第5条第2号) その他教育委員会が生涯学習センターの設置の目的を達成するために必要と認めるものとして別に定める事項。 (生涯学習センター条例第5条第3号)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターの利用を通じた生涯学習の普及振興に関する業務の実施方針 ・生涯学習センターの利用を通じた生涯学習の普及振興に関する業務の企画・立案及び実施能力 ・とっとり県民カレッジ講座の企画、運営及び生涯学習情報の提供に関する業務の実施方針 ・とっとり県民カレッジ講座の企画、運営能力 ・生涯学習情報の提供に関する業務の企画・立案及び実施能力 	25

(4) 審査結果 (面接及び書類審査)

選定基準 (配点)	審査結果 (平均点)	評 価
1 (合/否)	合	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の管理運営実績もあり、運営に対する考え方、ノウハウを十分に持っている。 ・県、市町村、高等教育機関との連携についての考え方が評価できる。
2 (30点)	22.8	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの事業実績を踏まえつつ、新たな事業展開の計画や料金支払のキャッシュレス決済導入等、サービス向上に取り組んでいる。 ・防災のための日常的な対応は評価できる。 ・高校生等の自主学習支援等利便性の向上に努めてほしい。 ・利用状況による閉館時間の変更については今後の状況を注意する必要がある。
3 (25点)	13.2	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな積算に基づき適切な収支計画である。 ・維持管理費、消耗品費の年次的減額は対応可能であるか検討をお願いしたい。
4 (20点)	14.7	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、困難な時期を安定的に対応した経営は評価できる。 ・今後のインターネットの利便性 (W i - F i) の環境整備に期待する。 ・今後必要とされる職員の雇用や人材育成にも取り組んでいるが、さらにデジタル人材を確保して、利用団体等にも支援して欲しい。
5 (合/否)	合	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会の利用が確保されている。 ・今までも生涯学習事業は県教育委員会と連携して取り組んでおり、今後も良い状況が継続すると見込まれる。

6 (25点)	19.4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育士の適切な指導により生涯学習の振興を図ってほしい。 ・県立夜間中学（令和6年度開校）へのサポートを期待したい。 ・より多くの県民に対して生涯学習が普及するよう、施設利用以外のアウトリーチ型や、出前型の事業等を積極的に企画実施してほしい。
総合評価 (100点)	70.1	※点数は委員5名の平均

7 指定管理候補者の事業計画の概要

(1) 生涯学習の普及振興の取組

ア 組織体制

- ・社会教育士及び生涯学習相談員を配置し、生涯学習に関するさまざまな相談に対応する。

イ 学習相談の実施

- ・県教育委員会や市町村、各種学習機関等と連携するとともに、独自調査により情報の収集及び整理を行い、各種の相談に対応する。

ウ 県内学習団体の支援

- ・生涯学習スクール「まなび(※)」の拡大

東部を中心とした「まなび」の支援継続に加え、中・西部の学習団体の活動をさらに支援するため生涯学習誌「生涯学習とっとり」による広報に努め、学習団体の交流会である「まなび・ふれあい交流会」への中・西部の団体の参加を促す。

※登録団体について施設の優先利用、とっとり県民カレッジ連携講座登録等による広報、学習成果発表の場(交流会)の提供等により支援する仕組

- ・様々な課題を抱える地域づくり等へ意欲のある個人・団体のため、社会教育士を配置して、これまでのコーディネーター経験を活かしながら、生涯学習相談や情報提供、課題解決型講座の企画・運営を積極的に行う。

エ とっとり県民カレッジ講座の企画・運営

- ・企画段階から市町村等との連携を密にし、市町村が抱える課題や受講者の要望、社会の要請等を踏まえ、有識者の意見を聴きながら、若者、子育て世代、高齢者、或いは社会全体の現代的課題を多角的に分析し、テーマを設定して効果的な学習プログラムの構築を図る。
- ・課題解決型・参加型の講座とし、実践発表、フィールドワーク、グループワーク等の学習の手法を取り入れ、参加者が主体的に学び、学びの成果が地域づくり等に着実に活かせるよう企画する。
- ・高等教育機関と連携した講座を設定し、ライブ配信業務を行う。

オ 自主企画事業の実施

- ・学習団体の交流会である「まなび・ふれあい交流会」を通じて学習成果の発表と交流を行い、生涯学習の機運醸成を図る。
- ・(公財)鳥取県看護協会と連携した「まちの保健室」講座など県民のニーズや要望を把握しながら自主事業を企画実施していく。

(2) 管理運営の基本的な考え方

- ・生涯学習センターの設立趣旨や生涯学習推進施策を進めるための中核拠点施設であることを十分に意識し、県教育委員会と連携して管理運営を行う。
- ・施設利用を通じて生涯学習・社会教育に取り組む個人や各種団体、学校、企業等の交流促進に積極的に取り組むことにより、社会教育の推進と県民の生涯学習の機運醸成を図ることを管理の基本に据える。

ア 開館時間・休館日等

- ・平日及び土曜日 9:00～21:00
- ・日曜日及び休日 9:00～17:00 (現行より閉館時間が2時間繰り上げ)
- ・休館日 12月29日から1月3日の6日間(設備点検等により臨時休館する場合あり)
- ・現在、利用の少ない5階パソコン研修室を中研修室に変更し、稼働率を高めるとともに、無料Wi-Fi環境を整備する。

イ 利用料金・減免基準

- ・利用料金、減免基準ともに現行と同様。

- (3) 県教育委員会との連携調整
- ・ 県教育委員会が行う事業に対して優先利用を確保する。
 - ・ 従来どおり県教育委員会と連絡を密にし、県の生涯学習推進施策に従い、市町村や高等教育機関との連携事業等を実施していく。
 - ・ 県教育委員会では令和6年度に県立夜間中学校を開校するなどの取組も進められており、県の取組に引き続き協力し、より幅広い方々に学びの場を提供していく。
- (4) サービス向上と利用促進のための取組
- ・ 施設利用料金の支払いについてキャッシュレス決済を導入。
 - ・ 5階講義室に新しい無料のLAN環境を整備。
 - ・ ロビーにコイン式コピー機を設置し、インターネット無料利用（1日最大60分）のためのWi-Fi環境を整備。
 - ・ レストラン・自動販売機の継続設置（レストランから各研修室に出前）。
 - ・ アンケート・窓口等で利用者ニーズを把握し、サービス向上に活用。

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会報告書
(鳥取県立船上山少年自然の家)

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会(以下「審査委員会」という。)において、次のとおり鳥取県立船上山少年自然の家の指定管理候補者を鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例(以下「青少年社会教育施設設置管理条例」という。)第7条の規定に基づいて審査した。

1 指定管理候補者

TKSS・富士総合警備保障共同企業体

(代表)株式会社TKSS 代表取締役 田中 富士夫(米子市米原八丁目11番49号)

富士総合警備保障株式会社 代表取締役 谷口 道明(鳥取市商栄町405番地1)

2 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

3 指定管理料の額

200,605,000円・・・(1)(債務負担行為額200,605,000円)

[参考]単年度委託料の額((1)÷5年) 40,121,000円

4 選定理由

鳥取県立船上山少年自然の家の指定管理者の指定に当たって応募があったのは上記1団体であった。審査委員会において青少年社会教育施設設置管理条例第7条の基準に基づき総合的に審査した結果、上記1の候補者が指定管理候補者として適当であると認める。

[選定理由]

財政基盤も安定しており、これまでの指定管理施設の管理運営の経験からしっかりとしたコスト意識に基づく経営や業務に関するノウハウを有している。また、指定管理施設に配置する職員には接遇や、危機管理等様々な研修による人材育成の方針を明確に打ち出している。

さらに、普段の業務の中での県職員との円滑な意思疎通、緊密な連携だけでなく周辺地域、関係団体とも連携を進めるなどしながら、施設の利用促進やサービス向上の方策が提案されている。

5 公募の経緯

(1) 募集期間(募集要項配布から募集締め切りの日まで)

令和5年6月19日(月)から同年8月3日(木)まで(現地説明会の希望なし)

(2) 応募者

応募者	所在地	代表者名
TKSS・富士総合警備保障共同企業体	米子市米原八丁目11番49号	代表取締役 田中 富士夫

6 審査の経緯

(1) 審査委員

氏名	所属等
岩田 直樹(委員長)	公立大学法人公立鳥取環境大学 特任教授
高田 充征(副委員長)	高田税理士事務所 税理士
中江 人美	北栄人権文化センター 館長
松浦 靖明	みささこども園 コーディネーター
林 憲彰	鳥取県教育委員会事務局 次長

(2) 開催経緯

ア 第1回審査委員会 令和5年6月12日(月)

- ・県立船上山少年自然の家の概要説明、募集要項等の審議

イ 第2回審査委員会 令和5年8月8日(火)

- ・指定管理候補者の面接審査の実施、採点及び採点結果の審議、指定管理候補者の審査

(3) 選定基準

	選定基準	審査項目	配点
1	施設の平等な利用を確保するのに十分なものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第4号)	・管理の基本的な考え方の適合性 (施設設置目的の理解 指定管理者を希望する理由 管理運営の方針)	必須 ※平等な利用が確保できないと判断される場合は失格
2	施設の効用を最大限に発揮させるものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第1号)	・施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容(サービス向上策、利用促進策等) ・管理の基準 (開館時間、休館日、利用料金等の設定 個人情報保護、情報の公開) ・施設設備の維持及び衛生管理の水準 ・利用者の安全確保(事故・事件の防止措置) ・利用者等の要望の把握	25
3	管理に係る経費の縮減が図られるものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第1号)	・収支計画及び見積内容 ・支出計画の見通し ・県の指定管理料額	20
4	管理業務を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第2号)	・法人の財政基盤、経営基盤 ・組織及び職員の配置等 ・現在の施設職員の継続雇用に関する方針 ・関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況 ・法人等の社会的責任の遂行状況 (障がい者雇用 男女共同参画推進企業等の認定等 ISO14001・TEAS I種規格等の認証等 あいサポート企業等の認定等 家庭教育推進協力企業の協定) ・当該施設の管理運営実績評価	30
5	教育委員会の行う事業等に積極的に協力するものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第2号)	・所内での連携についての方針 ・受入事業等の実施の際の協力・方法	25

(4) 審査結果（面接及び書類審査）

選定基準 (配点)	審査結果 (平均点)	評 価
1 (合／否)	合	<ul style="list-style-type: none"> これまでの運営実績を踏まえ、魅力ある船上山少年自然の家となるようこれまで以上の管理運営に努めていただきたい。 今後、SDG s について意識した運営を行う必要が出てくるかもしれない。
2 (25点)	17.2	<ul style="list-style-type: none"> 利用者等の要望の把握、利用促進等のためのSNSのさらなる活用を望む。 地産地消へ向けた取組がされており期待できる。 事故防止及び対応については、ノウハウの多い会社が参画しているので、そのノウハウを活用いただければ、さらに安全性が高まる。
3 (20点)	9.6	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績を踏まえた計画となっており適切である。 今後の収支計画は重要なため積算をより明確にされたい。
4 (30点)	20.6	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況、経営状況とも非常に安定している。 利用者が減少傾向であり、今以上の利用者確保の取組を期待したい。 引き続き、許可等の文書発送時、複数人の目を通るような体制の中で誤発送がないよう配慮されたい。
5 (25点)	18	<ul style="list-style-type: none"> 定期的運営会議等の開催で、県職員との意見交換を充実し、魅力あるプログラムの開発実施を行ってほしい。 日本海駅伝競走大会や南部忠平杯くらし女子駅伝競走大会の出場校への宿泊誘致のように、今後も、各種大会参加者（参加校）への勧誘を行ってほしい。
総合評価 (100点)	65.4	※点数は委員5名の平均

7 指定管理候補者の事業計画の概要

(1) 管理運営の基本的な考え方

- ・社会教育施設としての役割を認識し、幼児から一般までの方、また高齢者や障がい者の方々全てが自然と触れ合い、教育文化活動、スポーツ活動などに組み込み、笑顔で活力ある体験活動を送ることができるような様々な支援を行う。
- ・目まぐるしく変化する現在、青少年が抱える様々な課題に対して、体験活動の重要性を高め青少年の健全育成に努め、船上山少年自然の家に何が求められているかを職員一人ひとりが常に考えながら行動する。
- ・学校等の利用団体の体験活動への積極的な支援を行うほか、利用者の目的が達成できるよう、柔軟に利用者の立場に立った対応を行う。
- ・山間僻地という立地の中で、事件、事故に迅速に対応できるよう地域の関係各機関とのネットワーク構築を図るとともに、平時から地域住民と連携しながら、より多くの目で利用者の活動の安全を見守る。

(2) 管理の基準・サービスの提供内容

- ・短期～中長期的観点から維持管理コストを最適化する。
- ・建築物保守及び警備・防災に関する講習を通年開催するほか、機器・設備の取扱い教育、緊急時の対応教育を年1回実施。
- ・苦情対応教育のため年1回のマナー教室を実施。
- ・年2回常勤社員による前期の振り返りを行い、業務の見直しを行うとともに来期の目標を定める。
- ・利用者アンケートにより利用者の意向を把握するとともに必要な対応を行う。

- ・利用者受傷時の水の提供、救急用品の配置、膝掛け用毛布・車椅子の貸し出しを実施。
- ・スマートフォン・携帯電話充電器の貸し出しを実施。

(3) 県事業との連携・協力

- ・県の指導部門との連携を深めるため、指導研修内容、災害・事故時の救護方法を熟知する。
- ・県の主催事業をさらに魅力的なものにできるよう協力を行う。
- ・事業が集中し、県職員が事務室に不在の時にも電話や受付に支障がないよう指定管理者が対応できる体制をとる。

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会報告書
(鳥取県立大山青年の家)

鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会(以下「審査委員会」という。)において、次のとおり鳥取県立大山青年の家の指定管理候補者を鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例(以下「青少年社会教育施設設置管理条例」という。)第7条の規定に基づいて審査した。

1 指定管理候補者

公益財団法人鳥取県教育文化財団 理事長 福本 慎一(鳥取市扇町21番地)

2 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

3 指定管理料の額

193,655,000円・・・(1)(債務負担行為額193,655,000円)

[参考] 単年度委託料の額 ((1) ÷ 5年) 38,731,000円

4 選定理由

鳥取県立大山青年の家の指定管理者の指定に当たって応募があったのは上記1団体であった。審査委員会において青少年社会教育施設設置管理条例第7条の基準に基づき総合的に審査した結果、上記1の候補者が指定管理候補者として適当であると認める。

[選定理由]

財政基盤も安定しており、これまでの指定管理施設の管理運営の経験から施設設備の維持管理や危機対応等各種業務に関するノウハウも有している。また、当該施設の設置目的を理解した上で、体験活動を組織的に提供する教育機関として利用者がその効果を十分に享受できるよう県職員と緊密に連携し、事業に取り組む方針を明確にしている。

さらに、新しい活動メニューの開発や他の施設等とも連携した広域的な観光情報の発信等サービスの向上、施設の利用促進に向けた方策を提案している。

5 公募の経緯

(1) 募集期間(募集要項配布から募集締め切りの日まで)

令和5年6月19日(月)から同年8月3日(木)まで(現地説明会7月19日(水))

(2) 応募者

応募者	所在地	代表者名
(公財)鳥取県教育文化財団	鳥取市扇町21番地	理事長 福本 慎一

6 審査の経緯

(1) 審査委員

氏名	所属等
岩田 直樹(委員長)	公立大学法人公立鳥取環境大学 特任教授
高田 充征(副委員長)	高田税理士事務所 税理士
齋藤 匠	前伯耆町立岸本小学校 校長 ※8月8日は欠席
矢倉 美和子	ミライトひえづ 室長
林 憲彰	鳥取県教育委員会事務局次長

(2) 開催経緯

ア 第1回審査委員会 令和5年6月12日(月)

- ・県立大山青年の家の概要説明、募集要項等の審議

イ 第2回審査委員会 令和5年8月8日(火)

- ・指定管理候補者の面接審査の実施、採点及び採点結果の審議、指定管理候補者の審査

(3) 選定基準

	選定基準	審査項目	配点
1	施設の平等な利用を確保するのに十分なものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第4号)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理の基本的な考え方の適合性 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 施設設置目的の理解 指定管理者を希望する理由 管理運営の方針 </div>	必須 ※平等な利用が確保できないと判断される場合は失格
2	施設の効用を最大限に発揮させるものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第1号)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容(サービス向上策、利用促進策等) ・管理の基準 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 開館時間、休館日、利用料金等の設定 個人情報保護、情報の公開 </div> ・施設設備の維持及び衛生管理の水準 ・利用者の安全確保(事故・事件の防止措置) ・利用者等の要望の把握 	25
3	管理に係る経費の縮減が図られるものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第1号)	<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画及び見積内容 ・支出計画の見通し ・県の指定管理料額 	20
4	管理業務を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第2号)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の財政基盤、経営基盤 ・組織及び職員の配置等 ・現在の施設職員の継続雇用に関する方針 ・関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況 ・法人等の社会的責任の遂行状況 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用 男女共同参画推進企業等の認定等 ISO14001・TEAS I種規格等の認証等 あいサポート企業等の認定等 家庭教育推進協力企業の協定 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・当該施設の管理運営実績評価 	30
5	教育委員会の行う事業等に積極的に協力するものであること。 (青少年社会教育施設設置管理条例第7条第2号)	<ul style="list-style-type: none"> ・所内での連携についての方針 ・受入事業等の実施の際の協力・方法 	25

(4) 審査結果（面接及び書類審査）

選定基準 (配点)	審査結果 (平均点)	評 価
1 (合/否)	合	・施設開所当初からの運営実績もあり、運営に対する考え方、ノウハウを十分有している。
2 (25点)	17.75	・自主事業に向けた取組が優れている。 ・激甚気象（猛暑、大雨等）が頻発しており、利用者の安全確保、施設設備の維持管理に今まで以上に取り組んでほしい。 ・SNSを活用した情報発信のレベルを高め、多くの利用者の獲得を期待したい。
3 (20点)	10.75	・支出計画が詳細に計画されており、確かな積算に基づく適切な収支計画となっている。
4 (30点)	20.25	・財政基盤が安定しており、経営状況も良好である。 ・法人の他部門の職員との連携による人材育成及び事業展開に期待したい。
5 (25点)	20.5	・様々なネットワークを活用して、新たな事業（エコツーリズム等）を企画運営して欲しい。 ・新たな利用者ニーズを積極的に把握し、県教育委員会との連携のもと教育活動の充実を一層図って欲しい。
総合評価 (100点)	69.25	※点数は委員4名の平均

7 指定管理候補者の事業計画の概要

(1) 管理運営の基本的な考え方

- ・大山青年の家は鳥取県が設置している社会教育施設であり、質の高い体験活動を組織的に提供できる教育機関であることを十分意識した上で、その効果を楽しむよう所長等と密接に連携して事業を補助し、諸規程を遵守しながら円滑な運営に積極的に協力する。
- ・利用者への最大のサービスは安全安心な環境と充実した時間の中でしっかりした研修や自然体験ができることと考えており、利用者には笑顔で挨拶の励行、利用者等との対応では、活動に係る協議内容を確実に確認し、関係者全員で情報共有して、トラブル防止、気持ちの良い接遇に努める。
- ・実際の活動に際しては、効率的で充実した体験が出来るよう、企画に沿った施設や器具の準備の打合せにも参画し、県の指導員への補助・協力を努める。

(2) 管理の基準・サービスの提供内容

- ・日常から職員による巡視、点検で快適な環境の維持と異常の早期発見に努め、また毎年実施される「教育施設建設設備定期点検」の結果を確認して、修繕を要する箇所は県に報告した上で、早期に修繕を行い、被害の拡大を防止する。
- ・利用者が気持ち良く活動に参加できるよう職員の応接力の向上を図るとともに、利用者とのトラブルを防ぐため、打合せ結果等の情報を共有し、その確認を励行する。
- ・新しい活動メニューの開発、必要な備品の購入など県の指導担当と協力し、利用者の満足度向上に努める。
- ・県内外の利用者向けに観光パンフレット、近隣の施設状況の提供など大山青年の家を情報発信や観光などでもハブ機能を発揮できるよう工夫していく。

(3) 県事業との連携・協力

- ・県の社会教育施設であることを認識し、受付から終了まで利用者が自然体験活動、生涯学習の効果を十分に享受できるよう県の指導部門と常に連携しながら業務を行う。
- ・受付段階では、聞き取り内容を県の指導部門へ速やかに報告し、指導部門が予約受付を円滑に実施できるよう利用者との連絡に当たる。事業計画段階では、活動場所や用品の準備など

活動内容への提案をしたり、研修内容やスケジュールに応じて職員の勤務時間帯を編成するなど研修の充実と円滑な実施に向け、綿密な連携を行う。

- ・受入事業・主催事業の実施に当たっては、各課程において県指導部門と連携して進め、食事数の変更やアレルギー対応等についても給食会へ連絡するとともに職員に伝える。

モンゴル中央県設立 100 周年記念事業参加及び友好交流 25 周年記念事業の実施について

令和 5 年 8 月 21 日
交 流 推 進 課
図 書 館

モンゴル中央県が今年で設立 100 周年を迎えることから、中央県にて行われた記念事業に亀井副知事を団長とする訪問団を派遣しました。また、平成 9 年に友好交流の覚書に調印してから、昨年 25 周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から記念事業を開催できなかったため、この度の訪蒙に合わせて、友好交流 25 周年記念事業を実施しました。

今後も引き続きモンゴル中央県との交流、関係強化を進めていきます。

- 1 訪問団 副知事団 亀井副知事、小林図書館長ほか計 8 名
(その他のモンゴル中央県訪問団)
モンゴル中央県親善協会団計 25 名、議員団：内田博長（親善協会副会長）ほか計 5 名
EATOF（北東アジア地方政府観光フォーラム）団計 3 名
日南町団計 10 名
※日南町は平成 30 年度からモンゴル中央県ゾーンモド市と交流
- 2 派遣期間 令和 5 年 7 月 26 日（水）～29 日（土）
- 3 モンゴル中央県設立 100 周年記念事業
 - (1) 日 時 7 月 27 日（木）～28 日（金）
 - (2) 場 所 中央県、ウランバートル市
 - (3) 概 要 ナーダム開会式（27 日午前）、歓迎レセプション（27 日夜）等に参加して、モンゴル中央県への祝意を表した。
※「ナーダム」とは、モンゴルを代表する 3 競技「競馬」「相撲」「弓」の技術を競う祭りのこと。
- 4 友好交流 25 周年記念事業
 - (1) 記念式典
 - ①日 時 7 月 27 日（木）15：45～16：20
 - ②場 所 モンゴル中央県庁会議室
 - ③出席者 鳥取県 副知事団、議員団
中央県 ムンフバートル知事、オトゴンバト官房長官、マグナイバヤル行政管理部長、ゾリグトバートル県立図書館長等
 - ④概 要 友好交流締結から 26 年目を迎え、これまで行ってきた農業、医療、教育等の人材育成に加え、農業機械や医療機械など、相互に有益な交流、新しい時代を切り開く交流を発展させていくことをお互いに確認した。
【発言要旨】
(ムンフバートル知事)
 - ・これまで特に農業、医療、教育を中心に様々な交流を行って来た。交流を更に拡大させたい。相互利益のある交流、新しい時代を切り開く交流を行いたい。
(亀井副知事)
 - ・それぞれの立場で考えて相互に利益の得るように、新しい時代に向かって、これからも一緒に協力していく。



ナーダム開会式



25 周年記念式典

(2) D. ナツアグドルジ記念公共図書館訪問

①日 時 7月27日(木) 17:10～17:40

②場 所 図書館内会議室

③対応者 ゴリグトバータル図書館長、図書館職員3名

④概 要 ゴリグトバータル図書館長と小林図書館長による意見交換を行い、今後も交流を継続していくことを確認した。その後、ゴリグトバータル図書館長の案内により館内視察を行った。
※令和3年12月に、両県の図書館による図書交換の協定を締結し、お互いの図書の展示・貸出を通じた相互理解を促進することとした。



左：小林館長、右：ゴリグトバータル館長



鳥取県から送った交換図書の展示

(3) モンゴル中央県中央病院訪問

①日 時 7月27日(木) 16:30～17:00

②場 所 中央病院院長室

③対応者 エンキタワン病院長、研修経験者3名

④概 要 病院長から、中央県から鳥取県立中央病院への研修生の受入れ、本県からの専門家派遣が、モンゴル中央県の医療技術の向上に繋がっていることに対して謝意を表された。これまでの交流を基に、今後も交流を発展させていくことを確認した。

(4) 食糧農牧業局訪問

①日 時 7月27日(木) 18:00～18:30

②場 所 ナーダム会場内のゲル

(モンゴル相撲力士の切り分ける羊肉と馬乳酒のおもてなしを受けながらの面談)

③対応者 ジャンバルドルジ食糧農牧業局長

④概 要 本県からの専門家の派遣や研修生の受入れが、中央県の農業生産力向上に鳥取県は大きく貢献してきたことに謝意を表された。
これまでの交流を基に農業機械の導入など、相互に有益な交流を発展させていくことを確認した。



鳥取県立中央病院での研修経験者



右側3人目：ジャンバルドルジ局長